

市議会議員 村上ひろしの

NEW & GOODS

vol.
6



◀村上ひろし公式ホームページ

〒862-8601 熊本市中央区手取本町1-1

TEL(096)328-2650 FAX(096)324-7777

2021年 6月発行

豪華クルーズ船、ダイヤモンド・プリンセス号の乗客から、新型コロナウイルス感染症に罹患した患者が確認されたのは、昨年(2020年)2月1日でした。

当時は、日本中がまだ「よそごと」でした。あれから2年目の今、身近に迫る恐怖。今回は新型コロナの特集号としていろいろな立場の方4名に原稿をお願いしました。ご一読いただければ幸いです。

コロナ禍を長引かせる政治の責任

熊本市議会議員 村上博

■ 増え続ける感染者

日本で最初に新型コロナの感染者が確認されたのは1年半前。熊本市内での初めての感染確認が、今年の2月21日ですから、すでに1年3ヶ月を過ぎ、感染者の総数は、5月末ですでに3500人を超えています。

大阪では自宅療養者が千人を超え、巡回の医師に密着した番組で、危ないと診断した青年を保健所に強く働きかけ入院させ、5日後、母親に電話で様子を尋ねたところ、「今朝、亡くなった」と母親から報告を受けた、と巡回医師が証言する場面がありました。

■ 病床使用率に関心を

現在、熊本県は熊本市を中心に、「まん延防止等重点措置」宣言が5月16日に発出されており、病床使用率が90%を超え、大変な事態です。

病床使用率がこれだけ高いと、新型コロナの感染者が入院出来ないだけでなく、他の重症の緊急搬送の患者さんの受け入れ先が決まらず、救急車の中で4時間も待たざるを得なかった事でも分かると思います。ぜひ、病床使用率の推移にも関心を持ってください。

■ ワクチン接種の先に見える明かり

ワクチンの獲得が日本は遅かったと世界からみられています。

イスラエルなどはすでに60%ほどが接種を終わっているとわれ、マスクも外している映像が流れています。アメリカに住んでいる私の姉からの手紙でも30%の接種率を超え、当たり前の日常生活に戻り、自由な雰囲気伝える手紙の内容でした。やはり、コロナ対策はワクチン接種の進み具合に尽きるようです。

日本では最近になって大規模接種会場で接種が始まったことがニュースになり、やっと全国でも接種率が進み始めてきました。

■ コロナ対策に本気で取り組んだイギリス

海外ニュースでイギリスのコロナ事情を報道していました。昨年、ジョンソン首相は当初、新型コロナを軽く考えていたため、感染拡大が続き、感染率が30%を超える状況にイギリス国内が大騒ぎになりました。しかし、ジョンソン首相自身が新型コロナに感染したことをキッカケに、コロナ対策の大転換を図りました。

対策の一番はワクチンの獲得、その次は接種体制の確立を進めたのです。その為に、プロジェクトチーム(PT)を立ち上げ、民間の有能な女性経営者2人を責任者に据えたのです。あらゆる人脈を駆使してワクチンを獲得している間、もう一方のPTは、同時進行でイギリス全土のワクチン接種体制を確立させたそうです。

接種率60%を超えると、社会的にはかなりの免疫力がつくそうで、60%になればほぼ感染しなくなるそうです。その様に、先が見通せる状況がイギリス国民の顔を明るくしているようです。

■ 後手に回る日本政府

翻って日本の状況は目を覆いたくなる現実です。本日(5/27)の熊本市の感染者数は45人、うち17人が特別養護老人ホームでのクラスターです。病床使用率が90%を超える状態の熊本市。こうした状況は全国的に同じといえます。



■ 非常事態宣言の延長のなかでのオリンピック開催

大きな不安を抱えた状況でもどうやらオリンピックは開催されそうです。

本来、平和の祭典と呼ばれているオリンピックは様々な国や人種を超えて交流することで大きな目的である平和と相互理解が達成できるわけです。それからすると、本来の目的を達成するには一番条件が悪い時期に行おうとしているのが今回の「2020東京オリンピック」なのです。

一度延期しており、次回のフランスでのオリンピック開催が決まっているという事情での更なる延期は出来ない様です。世論調査では、80%以上が「延期か中止」という国民感情の中での開催は、アスリートの気持ちもスッキリしないでしょう。



■ きっかけは全国一斉休校

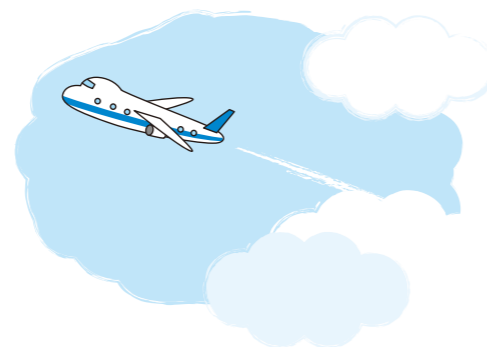
昨年2月末、当時の安倍晋三首相は突然に小中学校の一斉休校を打ち出しました。小学校低学年の子どもが学校に行かなかったら、親は仕事どころではありません。

新型コロナを抑え込むためにロックダウンは大きな切り札の政策です。しかし、その切り札を切るには、国民が経済的に安心できる政策とセットである事が条件だと私は思いました。



■ 二兎追う政府の施策

1人親世帯やパート世帯、また突然休まれたら途端に影響を受ける中小企業はもろにその影響を受けました。それどころか、コロナ抑え込みと経済を同時に回すと、「Go To トラベル」を打ち出しました。



■ 新型コロナからの警鐘

その後は、皆さんもご存知の様に、打つ手が後手、後手に回ったのです。

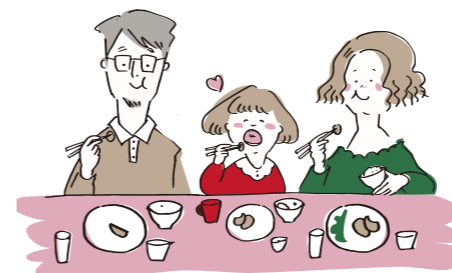
日本は基礎研究に予算を付けない事でもよく知られています。何人ものノーベル賞受賞者が「基礎研究に予算を!!」と訴え続けてきました。

自国でのワクチン開発などの基礎研究に予算を付けなかったことも、翻ってみれば、新型コロナからの警鐘なのかも知れません。



■ さざなみ、屁のような発言

私は、「Go To トラベル」に続いて、「Go To Eat」を打ち出し、あくまでもコロナ対策と経済を同時に施策として打ち出した政府の政治責任は余りに大きいと思います。ましてや、病床使用率が高く緊急搬送の受け入れ先が見つからない深刻な状況下で、外国と比べて日本の感染状況を「さざなみ」とか、緊急事態宣言の延長を「屁のような」とSNSで発信した内閣官房参与の経済学者を、個人的な見解として問題にしなかった菅総理。



■ 政権の選び直し

世論の強い批判を受け、処分をされない内に本人が辞任してしまう、こんな事態を招いた事も含め、政治の責任は余りに大きいし、全くの無責任だと強く思います。

国難とも言える新型コロナの脅威に、国民の命を第一に考えているとは思えない政権は、国民の手で選び直すしかない、と思います。

秋には衆議院選挙が行われます。野党が果たしていいかどうかは分かりませんが、とにかく、国民の負託に応えない政権は私たちの手で変えるしかありません。



高齢者講習に行きました



気持ちだけは若いつもりでも...

70歳になると高齢者講習の修了証書を得られないと、次の免許更新ができません。高齢者講習が義務付けられた社会的背景にはもちろん、高齢者が運転する車で多くの人命が奪われる深刻な重大事故が相次いだこともあります。

バリアだけの自動車学校

私が高齢者講習先として選んだ自動車学校の玄関先には、入り口に5、6段の階段がありました。

階段の下から「恐れ入りませーす」と大声で呼びかけました。女性の事務員さんに加え、男性で私と同世代と思える3、4人の講師の方が出てこられました。車いすの私をみても特に驚いた風ではなく、慌てもせずに、4人は必要なところ、最初2人で抱えられたので、逆に私が慌てました。結局、3人がかりでこちなく抱え上げて貰いました。

講習室まで2カ所の階段

入り口で建物のバリアの様子が分かりましたが、講習室に行くまで3段の階段が2ヶ所ありました。これじゃ、障害者の

免許取得者はこれまで1人もいなかっただろうと、確信しました。それに当然ながら改造された教習車はありませんでした。

数字に表れている高齢者の事故

講習の始まりは、高齢者が関わる様々な事故や死亡者、負傷者を分析した表の説明から始まりました。気持ちは若くても私も立派な高齢者であることを認識せざるを得ませんでした。

また視力検査も昔のように棒で指す方法ではなく、機械を覗き込み、映像によるものでした。固定視力だけでなく、動体視力も検査されました。視野も検査され、結果表に、50代や60代の平均より劣ると評価されました。

高齢者であることをこれでもか、これでもかと言うぐらいに思い知らされました。

同世代の講師の想い

しかし、全ての講師の人が穏やかな口調で、車を運転する時に高齢者である私たち、受講者が事故の加害者にならない様に、との熱い思いに溢れている感じでした。

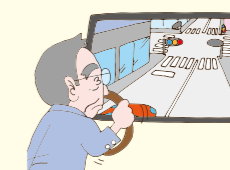
生徒の気持ち

座学の講習のあと、車に乗車してコースを回りましたが、改造教習車がない為、私の車に講師が同乗し、車庫入れ、クランク、S字コースなど一周しました。私の運転ぶりを見ての講師の方のアドバイスが、実に穏やかで丁寧な口調なので、指摘を受けても素直な気持ちで受け止められました。

気を引き締めて運転

座学、乗車実習が済み、修了式で修了証書が6人の同級生(?)に手渡されました。私は、日常生活の移動手段として、まだ車を手放せません。

しかし、今後、高齢者ドライバーとして他人の人生を一変させる様な事故を起こさない為にも、改めて車を運転する際には、気持ちを引き締めて運転しようと決意した1日でした。



『コロナ禍で自分にできること』

やまさき歯科 院長 山崎 芳徳

コロナの影響は大変みたいですね。まるで他人事のような言い方ですが、実際私はコロナによる影響でさほど困ってはいませんが、逆に雇用がなくなったり、売り上げが激減したり、困っている人は大勢います。ところが、コロナの影響でとても業績を上げている企業もあります。コロナ格差ですね。



昨今、「格差」という言葉をよく目にします。ネットで調べると、「格差社会とは所得や資産、健康などと言った様々な基準によって差が生じ、階層化している社会を意味する言葉」との説明。また格差には所得格差、資産、経済、貧富、1票、教育、学力、地域、健康、医療、男女、国家間、情報、世代、雇用、恋愛格差等があると。

「格差をなくさなくては」と政治家や評論家は口を揃えて言います。僕は「そうだそうだ」と思いながらも格差がない社会を経験したことがなく、実際、どうしていいのかわかりません。

『一声かける勇気』

困っている人に出会った時、その人はきっと自分の中の優しさや勇気を引き出してくれる人だと思います。目をつぶると、今コロナで困っているだろうな、と想像できる知り合いが数人浮かびます。特に飲食関係の人たち。それまでは僕から声をかける事なんかなかったのに「お持ち帰り、できますか」と声色を変えて電話をしてみました。お持ち帰りの注文など、大したことじゃないので恥ずかしいけど。でも電話口で「ありがとうございます」と、明るい声が僕を励まします。

格差を消す事に果敢に挑戦することはとても大切。でもそれ以上に心の重しの下にある優しさを押し出し「大丈夫ですか?」と一声かける勇気をもって生きたいと思います。

『放課後の生活の場、学童クラブの現場から』

元学童クラブ指導員 西川 伸一郎

大都市では、多くの学童クラブが小学3年までのため、小学4年の壁問題があり、「学童落ちた」と、世間の注目を集めました。熊本市は、6年生までの障害児を含め、支援が必要なすべての児童を受け入れています。職員の増員はあるものの、受け皿の安心・安全・遊びが保障されていません。



『長期間のゲーム禁止は厳しい』

狭い空き教室・高学年との混合保育の問題等、学童クラブの児童には、厳しい環境です。また、3密対策で、マスク着用・手洗い、おやつ時の黙食指導、更に、遊びも折り紙・塗り絵等一人遊びに取り組む。しかし、長期間のゲーム(トランプ・将棋等)の禁止は、学童にはもう限界です。マスクの着用も、朝の登校から学童クラブが終わる時間まで、12時間の連続着用は学童には厳しい。

『いつ、感染者が出てもおかしくない』

さらに、保護者の多様化で、10月からは預かり時間が19時まで延長されます。延長で、子どもの生活時間も長時間になり、学校より、学童クラブにいる時間の方が長い児童が増えています。

市役所から、新型コロナ対策として、マスク・消毒液など、学童クラブに数十万円単位の衛生用品が届きました。しかし、どれだけ対策しても、これだけの密集状況を考えると、いつ、学童クラブから感染が発生してもおかしくない。医療機関ではないが、学童クラブの子どもたちと学童クラブの職員と保育園児には、ワクチンの優先接種を希望します。

『ワクチン接種が進んでいるアメリカの日常生活』

林 慧子(Lin.M.Keiko)



ランチを楽しむ姉夫婦

『楽しみは、ジェームズ川沿いの遊歩道の散歩』

こんにちは!
私は、アメリカのリッチモンド、ヴァージニア州に住んでいます。5月に75歳になり1年5ヶ月ぶりに徒歩5分のレストランで、夫と誕生日のお祝いをしました。夫は医療従事者ですので、2020年12月と2021年1月の2度のワクチン接種を終え、週1回の出勤と4日のリモートワークが続いています。私も今年3月末と4月に2度目のワクチンが終わり、皆さんが怖がっている副作用も無く、ジェームズ川沿いの遊歩道の散歩を楽しんでいます。行きあう人が元気に挨拶を交わしてくれるのがなんと気持ち明るくさせてくれます。

『ショッピングカートがピカピカに!!』

ラルフ・ノーサム州知事から、ワクチンを済ませた人はマスクをしなくても良いとのことでしたが、今も、スーパーや大きな商業施設ではマスク着用のサインがでています。パンデミックで嬉しかったのは、どこのお店もショッピングカートがピカピカに磨かれ、床が日本のデパートの様に綺麗になっていることです。5月から州を越えての旅行が緩和されお友達は、ニューヨークの仏教寺院へ帰苑なさっています。教会へも行ける様になり皆様の心も穏やかさを取り戻しているのではと、嬉しく思います。

『熊本の気候に似ているリッチモンド』

私達は8年前にボストンからリッチモンドへ引っ越しましたが、気候が熊本に似ているので3月には桜を楽しむことができるのが何よりも嬉しいです。5月末より九州は梅雨入りとか、リッチモンドには梅雨がないのが不思議です。

今日は5月22日土曜日、夫と高速で20分ほどのスーパーに買い出しに行きました。皆さんマスクはしていましたが、レジで待っている時フィジカルディスタンスを示すマークがなくなっているのにびっくりしました!?

アー、ちょっぴり改善の方向に動き始めている事を実感しました。スーパーで売っているサーモンの刺身とアボカド巻でランチするのが、二人の唯一の楽しみ、今日もテラスで楽しんで来ました。

『zoomやSkypeを使いこなせるように!!』

この一年、シカゴの娘やノーザン(北)アイルランドに住んでいる孫や娘達との連絡にzoomやSkypeを使い、また写真を添付する方法を覚えたり、お友達との連絡にはメッセージを使える様になりパンデミックがなかったらここまで使いこなせていなかった様な気がします。先日のレストランでは、テーブルに案内され、メニューは自分達の携帯を見ることから始まり、全てをオーダーし終わると食べ物が運ばれてきましたが、自分1人では出来なかったかもしれません。その時お店のウェイターがやってくれたのが写真を撮ってくれたことでした。その時のお写真を送ります。熊本の皆様、トンネルの向こうには明かりがみえます。

お会いできるのを楽しみにしております。

※林 慧子は、私の姉です。アメリカに移り住んですでに、52年ほどが経っています。一足早く、日常生活を取り戻したアメリカの様子を寄稿してくれました。

新型コロナウイルス感染症について

秋津レークタウンクリニック 院長 木村 孝文



新型コロナウイルス感染症が全国的に急拡大し、熊本でも今年4月上旬までは0～数名だったのが、現在は連日100名以上になっています。熊本市だけでなく、熊本県内全域に「まん延防止等重点措置」が適用されました。感染の急拡大に伴い、医療がひっ迫し、感染しても入院できずホテルや自宅療養をせざるを得ない人が増えています。

● 濃厚接触の定義とは

今回の流行の特徴はイギリス型と呼ばれる変異株が感染の大半を占めていることです。イギリス型は従来に比べて感染力が強く、子どもたちにも流行し、以前はまれだった若い人たちも重症化するのが特徴です。“濃厚接触”の定義はマスクなしで1m以内に15分間いることですが、変異株ではマスクなしだと5分以内の接触でも感染が確認されています。また密閉状態でないバーベキューなど屋外の会食でも感染し、多くのクラスターが発生し、今まで以上の予防対策が必要です。

● 予防効果が高いワクチン

現在、65歳以上の高齢者を対象にファイザー社製のワクチン接種が行われていますが、このワクチンは約95%の予防効果があり、非常に高い有効性を示しています。1回目の接種後10日くらいで免疫が付き始め、2回目の接種後、数日で高い免疫力を獲得します。



2回の接種後、2週間するとかなり安心できます。またイギリス型、ブラジル型などの変異株にも有効です。

● ワクチン接種をできるだけ

ワクチン予約体制に混乱が生じ、予約が取りにくいかもしれませんが、大きな予防効果があります。できるだけ受けるようにしましょう。

カプレカ数の不思議!?

不思議な数字カプレカ数をご存知ですか？
ご存知の方もおられると思いますが、私はつい最近知りました。
ちょっとした頭の体操になるかも、気分転換にやってみませんか。

誰でも出来ます。ちょっとした時間に試してください。まず、3桁以上のランダムな数字を書いてください。

(例1)3桁数字の場合

① 987 ⇒ この数字を
一番少ない数字に
並べ替えます。
その数字を引き算します。

- ② 987 - 789 = 198
- ③ 981 - 189 = 792
- ④ 972 - 279 = 693
- ⑤ 963 - 369 = 594
- ⑥ 954 - 459 = 495
- ⑦ 954 - 459 = 495

495 ⇒ カプレカ数

(例2)4桁数字の場合

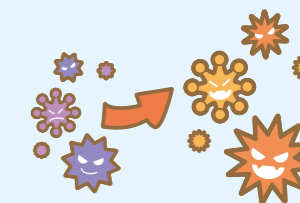
私は1950年生まれです。
そこで、4桁の数字1950でLet's challenge!!

- ① 1950
- ② 9510 - 159 = 9351
- ③ 9531 - 1359 = 8172
- ④ 8721 - 1278 = 7443
- ⑤ 7443 - 3447 = 3996
- ⑥ 9963 - 3699 = 6264
- ⑦ 6642 - 2466 = 4176
- ⑧ 7641 - 1467 = 6174
- ⑨ 7641 - 1467 = 6174

6174 ⇒ カプレカ数

子ども達への感染を危惧 ～ 学校現場の状況

ある小学校教員 Mさん



『全国一斉休校から1年』

ご存じの通り、2020年3月2日から、全国一斉休校措置がとられ、4月7日、東京など7都府県に「緊急事態宣言」が出されました。

1年前、新規感染者数は、全国で720人(4/11)、熊本県で3人(5/14)。

1年後の今は、全国で7,237人(5/8)、熊本県で124人(5/14)です。

1年前の「緊急事態宣言」や「臨時休校措置」の是非は別にして、感染抑止の効果はありました。

『感染防止にブレーキ』

1年後の今、10都府県への「緊急事態宣言」や熊本県には、「まん延防止等重点措置」が出され、国民や県民は、経済的に追い込まれ、自粛疲れで、感染防止にブレーキがかかっています。しかし、感染拡大の一番の要因は、ワクチン対策や医療体制の強化をせずに「GOTO～」などの経済政策をとった政府の対応のまずさです。

『感染防止に逆行する学校の状況』

状況は、学校でも一緒です。「蜜になってはいけません」「手をつないではいけません」「手をしっかり洗いましょう」「大きな声を出してはいけません」「大きな声で歌ってはいけません」…。歓声をあげ、元気に触れ合いながら遊ぶのが子ども達なのに…。子どもたちに自粛を強いるのはかわいそうです。そんな中、学校では、昨年と違い、消毒作業や牛乳パックの洗浄等を担っていたSSS(スクールサポートスタッフ)の引き上げや水泳授業の再開、部活動の大会等の復活、フッ化物洗口の再開など、感染防止に逆行する状況が起こっています。

『ワクチン接種…子どもたちは対象外』

従来型から変異した英国型やインド型のウイルスは、感染力が強く、子どもにも感染しやすく、重症化しやすいそうです。なのに、学校での活動を昨年より緩めて大丈夫なのでしょうか？頼みの綱のワクチン接種は、子どもたちは対象外です。

『優先すべきは、子どもたちの命と健康』

学校現場にも子供たちの感染情報が入っています。大変、心配です。乱暴な言い方ですが、一斉臨時休校ではなくとも、学習の遅れや「思い出づくり」よりも、せめて、子ども達にワクチン接種ができるまで、子ども達の命や健康を守ることを優先すべきだと思います。

明石市のコロナ条例

《支援する行政》

村上 博

熊日新聞のコラム記事、“射程”で、兵庫県明石市が「コロナ条例」を制定したことを知りました。

とにかく、条例の内容が画期的です。新型コロナウイルスに感染した患者を、行政は寄り添い支援する対象と、はっきり明記している点です。

一方、行政は、「適切な措置を講じなければならない」と規定。

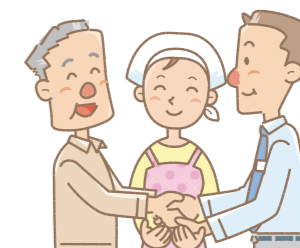
市民より市行政側の責務を厳しく捉えた上で、生活、経済も含めた市民への総合的な支援を全面に打ち出している点です。

私は、以前に二度、明石市の泉房雄市長にお会いしましたが、その時、泉市長は子ども支援について、「子どもの問題は、子どもを核とした家庭の問題、様々な支援をその家庭に徹底して行う」と力強く話されたことを鮮明に思い出しました。

徹底して、障害者問題でもシングルマザーの問題でも、常に弱い立場に置かれる市民に寄り添い支援すること、それが行政の立場と切り切られたのです。

今回の「コロナ条例」にもその精神が貫かれています。さすが、泉市長!!

熊日新聞より



『SNSの光と闇』

『内心の自由』

人の内面に二面性があるのは当然です。仮に、どんなに不道德なことで、内心に留めておけば、内心の自由として憲法で保障されています。それは、あくまでも、行動に移さないということが大前提であり、絶対条件です。

女子プロレスラーの木村花さんがTV番組に出演後、SNSの匿名性を悪用して、花さんに向け、執拗な誹謗中傷を続けた投稿者がいました。その結果、花さんは自らの命を絶ちました。母親の響子さんは、愛する娘と自分の尊厳を取り戻すために勇気ある行動を起こしました。

『匿名性の卑劣さ』

花さんの母親、響子さんは、最愛の娘、花さんを失った後の辛く悲しい時にも、「地獄に落ちなよ」、「あんたの死でみんな幸せになったよ、ありがとう」と言う、卑劣な投稿による誹謗中傷を受け続けました。

投稿者は、自分の名前を明かさず、名前が特定されないSNSの匿名性を悪用して誹謗中傷を続けた投稿者たちは、一人ではなかったのです。他の投稿者よりもっと傷つけようと、誹謗中傷の言葉はより過激さを増したのです。こうした花さんへの誹謗中傷は瞬く間に広がりました。

『遺族の心情と訴訟に立ちはだかる壁』

卑劣な非難中傷を続ける匿名の投稿者に対して、お母さんの響子さんは、花さんと自分の尊厳のために「遺族の心情を傷つけた」として損害賠償を求める訴訟を提起しました。

SNSの投稿者は匿名のミノを着て、人が苦しむのを見てほくそ笑む卑怯者です。尊厳を取り戻すための訴訟では、投稿者を特定する必要があり、響子さんの苦闘が始まりました。

『ツイッターの光と闇』

今や誰もが気軽に毎日のように利用するツイッター。名前も顔も知らない者同士で、同じ悩みや苦しみを共有したり、励まし支えあい、助け合うのを光とすれば、根拠もない噂やデマを流し、またその噂やデマに乗っかり、ターゲットになった人を追い詰めていく。こうしたSNSの利用の仕方が闇です。

『投稿者を特定する苦労』

響子さんは、投稿者を特定するために大変な苦労をされました。しかし、ツイッター社に、投稿者の情報開示を求め、やっと投稿者を特定できました。

そして、5月19日、裁判所は、投稿した男に賠償金の支払いを命ずる判決を下しました。

私は、提訴された当初から、5/19の判決を心待ちにしていました。

木村花さん以外にも、何人もの人たちが、SNSの匿名の誹謗中傷で、命を落とした事件がこれまでに何度となく報道されました。そうした報道を見聞きするたびに私は、便利なSNSの危うさを感じていました。

『投稿者の不誠実は最後まで』

木村花さんのお母さんは「遺族の尊厳」を取り戻す裁判を通して、投稿者の誹謗中傷がどれだけ花さんの気持ちに傷つけたかを理解させ、花さんへのお詫びの一言を期待されたと思います。ところが、この投稿者は、弁論には一度も出廷せず、書面での反論もしませんでした。この投稿者は、またもや、木村さん母子の尊厳を冒涇しました。人間らしさの微塵も感じられず、悔しい限りです。

『木村花さんのご冥福を祈ります!』

人として最後まで不誠実な態度を取り続けた投稿者に対し、多くの人の気持ちはすっきりしないと思います。最後に、木村花さんのご冥福を心からお祈りし、木村響子さんに心からの敬意を表します。

村上 博